

九州初!! 超高速マラソン!!

～「出水ツル koi マラソン」における 鹿児島国道事務所としての対応～

秋山 淳二¹・重田 良二¹

¹九州地方整備局 鹿児島国道事務所 阿久根維持出張所

(〒899-1611 鹿児島県阿久根市赤瀬川 1018)

令和元年 10 月 20 日、九州で初めて供用済の自動車専用道路がコースの一部となる形で開催された「出水ツル koi マラソン」において、主催者側であるマラソン大会実行委員会（出水市役所）との調整など鹿児島国道事務所としての一連の対応について報告を行うものである。

Key Words: 南九州西回り自動車道, 自動車専用道路, マラソンコース, 出水市, 阿久根市, 地域振興

1. はじめに

毎年 10 月中旬から 3 月にかけてツルの渡来地として全国的に知られている出水平野を擁する鹿児島県出水市において、地域活性化のために「出水ツルマラソン」が 1987 年(昭和 62 年)より開催されており、令和元年度で第 31 回を迎え、地元が目玉となるイベントの一つとなっている。

「ツルよ来い」「出水のまちに恋して」にかけて、第 31 回から大会名を「出水ツル koi マラソン」と改めた。併せてフルマラソンと 10km のコースを一新、E3A 南九州西回り自動車道(出水阿久根道路)を使用するコース

が設定された。(図-1)

¹開通後の自動車専用道路を使用したマラソンは全国でも例が少なく、九州では初の試みとなる。

本稿では、主催者側であるマラソン大会実行委員会（出水市役所）との調整など鹿児島国道事務所としての一連の対応について報告を行う。

2. 自動車専用道路をマラソンコースとした経緯

今回マラソンコースの一部を構成する自専道は、E3A 南九州西回り自動車道の内、平成 29 年度までに供用開始した「出水阿久根道路」（出水 IC～阿久根 IC）であ



図-1 ¹「出水ツル koi マラソン」コース概要図 (位置図は国土地理院・電子国土 Web を使用)

る。なお、出水 IC から起点側の「芦北出水道路」と阿久根 IC から終点側の「阿久根川内道路」は未供用（事業区間）である。

当面は出水市～阿久根市間に限定した供用区間となっており、地元の各自治体・道路利用者からも E3A 南九州西回り自動車道の早期全線開通が期待されているところである。

また従来のマラソン大会においては、河川敷の未舗装路なども一部コースとしており、参加者から安全対策を求める声が主催者側に寄せられていた。

上記理由により、当マラソン大会を「みんなのハイウェイ早期開通プロジェクト」と位置付け、前回から大幅にコースを変更し、「出水阿久根道路」（出水 IC～阿久根 IC）を使用したコースが、当マラソン大会の会長である出水市長をはじめとする大会組織メンバーから提案され、平成 31 年 3 月に出水ツルマラソン大会実行委員会から鹿児島県国道事務所長に「南九州西回り自動車道を活用した出水ツルマラソン大会の実施について」の要望書が提出された。

道路法第 48 条の 11 には「何人もみだりに自動車専用道路に立ち入り、又は自動車専用道路を自動車による以外の方法により通行してはならない。」とあるが、これに対して国土交通本省道路利用調整室からは「地域振興や道路事業への理解に資するイベントの開催は、道路利用者及び道路管理者双方にとって有益であること、イベントの開催に当たっては、当該自動車専用道路の交通状況も踏まえた上で道路管理者及び関係者の合意に基づき通行を規制して実施するものであることから、正当な理由があるものとして可能である」との見解がなされている。

またマラソン大会事務局である出水市役所から鹿児島県公安委員会・所轄警察署・トラック協会など各関係機関にも事前協議し、了承が得られた事を受け、今回の新しいコースでの大会開催の運びとなった。

3. 「出水ツルkoi マラソン」の大会組織及び鹿児島国道事務所との関係について

り大会役員の顧問として鹿児島国道事務所長、実行委員として同事務所管理第一課長が指名されている。

(1) 大会役員

会長 : 出水市長
副会長 : 出水市議会議長、出水商工会議所会頭など
顧問 : 鹿児島県国道事務所長、地元選出県議会議員
大会参与 : 鹿児島県観光連盟会長、鹿児島県北薩地域振興局建設部参事、出水市議会副議長、出水市議会各議員など

(2) 実行委員会

委員長 : 出水市副市長
副委員長 : 出水市教育長など
実行委員 : 出水商工会議所副会頭、出水市観光協会副会長、鹿児島県国道事務所管理第一課長、出水警察署交通課長など

(3) 関係協力団体

阿久根警察署、阿久根消防署

4. マラソン大会開催前における対応について

(1) 鹿児島県国道事務所内における主な役割

- ・管理第一課：実行委員としての事務局との連絡調整
- ・阿久根維持出張所：道路法手続に関する事務局への助言、マラソンコースとなる自動車専用道路の維持補修対応など

(2) 大会開催までの対応など（時系列）

平成 31 年 3 月 11 日

○出水ツルマラソン大会実行委員会から鹿児島県国道事務所長へ要望書提出。

「南九州西回り自動車道を活用した出水ツルマラソン大会の実施について」

平成 31 年 4 月 25 日

○マラソン大会 第 1 回実行委員会

- ・コース及び大会名称の変更に関する協議
- ・2019 年 10 月 20 日（日）に開催されることの通知
- ・鹿児島県国道事務所長 大会顧問就任
- ・管理第一課長 実行委員就任

令和元年 6 月 20 日

○出水ツルマラソン大会実行委員会事務局から鹿児島県国道事務所にスタート時刻、コースに関する通知

令和元年 7 月 9 日

○出水ツルマラソン大会実行委員会事務局から鹿児島県国道事務所への事前協議

- ・道路使用に関する手続きについて
- ・道路情報板での予告案内、大会当日の応援メッセージ表示について
- ・通行止開始に伴う作業について
- ・通行止解除における作業について
- ・コースの距離計測作業について など

令和元年 8 月 23 日

○交通規制予告看板設置に関する届出書提出

(大会実行委員会事務局から鹿児島国道事務所へ)

令和元年9月9日

- 大会実行委員会事務局による交通規制予告看板の設置 (令和元年10月21日まで)

令和元年9月30日

- 記者発表 マラソン大会に伴う自動車専用道路の通行止について (鹿児島国道事務所, 大会実行委員会事務局 合同記者発表)
※開催の結果について, 地元紙を含む3紙に掲載
- 記者発表 10月9日夜~12日朝の維持補修工事など実施に伴う自動車専用道路の通行止について (鹿児島国道事務所)
- マラソン大会 第2回実行委員会
・大会当日までの各担当部局における役割の再確認

令和元年10月1日

- マラソンコース距離計測に関する届出書提出 (大会実行委員会事務局から鹿児島国道事務所へ)

令和元年10月2日

- 道路交通法第110条の2第4項による交通規制に関する協議 (所轄警察署から鹿児島国道事務所へ)

令和元年10月9日~12日

- 自動車専用道路の夜間全面通行止めを伴う路面段差補修, 除草などの維持補修工事 (鹿児島国道事務所)
- マラソンコース距離計測・折り返し点決定 (大会事務局による)
- 折り返し地点におけるセンターポール, 車道分離ブロックの一時撤去 (鹿児島国道事務所)



写真-1 夜間全面通行止めによる維持補修工事の実施状況

5. マラソン大会当日における役割と対応

(1) 鹿児島国道事務所内における主な役割

- ・管理第一課: 緊急時対応, 道路情報板表示入力
- ・計画課: 国土交通省ブースにおける事業概要紹介

・阿久根維持出張所: 道路パトロール, 会場待機



写真-2 会場における国土交通省ブースの事業PR状況

(2) 大会当日の対応 (時系列)

- 6:30 マラソンスタート前のパトロール開始
- 7:00 出水IC~阿久根IC 全面通行止開始
- 8:20 スタート前パトロール終了



写真-3 大会開始前 道路パトロールの状況

- 9:00 フルマラソンスタート
- 9:10 3km コーススタート
- 10:00 10km コーススタート
- 12:20 阿久根IC 関門封鎖
折り返し地点におけるセンターポールの復旧
- 14:30 出水IC 関門封鎖
折り返し地点におけるセンターポールの復旧
- 15:30 マラソンランナー通過後のパトロール開始
- 16:50 パトロール終了 (安全確認完了)
- 17:00 出水IC~阿久根IC 全面通行止解除



写真-4.1 自動車専用道路におけるマラソン大会実施状況



写真4.2 自動車専用道路におけるマラソン大会実施状況

(3) 工夫した点など

鹿児島国道事務所から大会事務局への提案により、各インターチェンジ近くに設置されている道路情報板に距離とランナーへの応援メッセージなどを表示した。



写真5 道路情報板における応援メッセージなどの表示例

6. マラソン開催後の参加者の感想・意見等

第31回「出水ツルkoiマラソン」当日は、天候に恵まれ事故もなく無事に終了することができた。

自動車専用道路のコース（フルマラソン）に参加したランナーからは、²⁾次のような意見が寄せられた。

- 景観は素晴らしかったが、アップダウンが多い。
- 当日は風が強く遮るものがないため、向かい風の中で走ることが難しい。
- 従来のコースは河川敷の未舗装路があったが、今回は走りやすいコースとなった。
- 道路情報板に表示された応援メッセージが励みになった。
- 1km毎の距離表示がなかったため、距離表示を増設してもらえるとありがたい。
- 高速道路上での応援は一部箇所まで可能であったが、観客による声援が少ないと感じた …など

7. 今後の課題

「出水ツルkoiマラソン」は、令和2年度に予定されていた「かごしま国体」の時期と重なっていたこともあり、令和2年度は開催されないことになった。

今回の開催時期は未定であり、自動車専用道路をコースにする形で今後何回開催できるか、現時点では不明であるが、今後の開催にあたっての課題として、次のとおり考えられる。

- 大会当日の道路パトロールについて、割り当てられたタイムスケジュールが厳しかったため、再考を要する。
- 現在、自動車専用道路の対面通行2車線区間において、ワイヤーロープ防護柵の設置が進んでいるため、今後開催される場合は、折り返し地点の再検討を要する。



写真6 ワイヤーロープ防護柵の設置状況

- 前述のとおりワイヤーロープ防護柵の設置が進んでいるが、急病人等発生時において、警察・消防の緊急車両がUターン出来る箇所が今後限られてくるため、全線ワイヤーロープ防護柵が設置されたケースを想定した事故等対応について、警察・消防と調整する必要がある。
- 道路使用許可に関する手続きについて、関係機関への事前調整や資料作成に時間を要したため、今後は今回の事例を参考にして、余裕をもったスケジュールで手続きを進める必要がある。

謝辞： 今回の報告に際し、ご協力いただいた出水市産業振興部産業振興総務課の皆様がこの場をお借りして感謝の意を表します。

なお大会当日は、ランナーとしてフルマラソンに鹿児島国道事務所長、10kmコースに当時の副所長が参加し、共に無事完走しましたことを併せてお知らせいたします。

参考資料等

- 1) 出水ツルマラソン大会実行委員会：2019 第31回 出水ツルkoiマラソン大会実施要項, pp.12-33, 2019
- 2) 第31回出水ツルkoiマラソン大会公式レポート（ランネットホームページ掲載）
<https://runnet.jp/report/race.do?raceId=229393>